



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 日本化学産業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4094 URL <https://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角谷博樹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 百瀬 譲 (TEL) 03-5246-3540
管理本部総務部長
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	19,291	16.1	2,349	51.5	2,633	40.2	1,868	46.7
2024年3月期第3四半期	16,620	△10.8	1,550	△34.5	1,877	△31.6	1,273	△31.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,827百万円(△16.8%) 2024年3月期第3四半期 2,195百万円(69.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	96.06	—
2024年3月期第3四半期	64.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	53,982	46,338	85.8
2024年3月期	52,928	45,660	86.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 46,338百万円 2024年3月期 45,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	16.00	—	30.00	46.00
2025年3月期	—	30.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 投資者が通期業績を見通す際に有用と思われる情報

2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,720	10.1	2,570	18.0	2,870	12.1	1,990	14.2	102.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

期中における連結範囲の重要な変更に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	20,280,000株	2024年3月期	20,280,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	819,409株	2024年3月期	836,026株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	19,452,502株	2024年3月期3Q	19,669,681株

注) 期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行(役員向け株式交付信託)」が保有する当社株式(2025年3月期第3四半期96,268株、2024年3月期68,885株)が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行(役員向け株式交付信託)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日)における日本経済は、為替相場の変動、インフレ傾向の定着、世界的な政治情勢の不安定化や中国経済の低迷など依然として不透明な要素があるものの、インバウンド需要の拡大や、増加幅は大きくないものの国内消費の持ち直し、輸出の増加、設備投資の継続等により堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは2023年10月よりスタートした中期経営計画に基づき、2030年のありたい姿を視野に入れ、持続的な成長をめざしております。この中期経営計画を実現するために、新たな事業領域の強化を目指したりチウムイオン電池リサイクルのパイロットプラントの建設に着手いたしました。既存領域では、既存製品の販売・生産数量の確保・拡大に加え、新製品・新規用途開発品の早期の実績化及び新規ユーザーの開拓にも継続して取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は前年同四半期比2,670百万円 16.1%増の19,291百万円、営業利益は前年同四半期比798百万円 51.5%増の2,349百万円、経常利益は前年同四半期比755百万円 40.2%増の2,633百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同四半期比594百万円 46.7%増の1,868百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。

① 薬品事業

主力の薬品事業では、主要な分野である電子工業の出荷額は、穏やかな回復基調にあり、国内市場における需要の回復による販売数量の拡大や非鉄金属相場の上昇等が、売上の拡大に貢献いたしました。また、世界のEV販売台数の成長に翳りがみられる不透明な状況においても、二次電池用正極材の受託加工は引き続き堅調に推移いたしました。加えて、タイの子会社であるサイアム・エヌケーエス社の業績も好調を維持しております。

更に、国内における売上高の増加にも貢献した非鉄金属相場が一部足元で下落に転じているものの、当年度前半における上昇のメリットに加え、販売価格のアップ及び生産コスト削減による製品付加価値の向上等により、売上高は前年同四半期比2,880百万円 21.2%増の16,479百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比1,013百万円 65.5%増の2,560百万円となりました。

② 建材事業

建材事業では、新設住宅着工戸数の減少等、厳しい事業環境が続いております。

このような環境下、依然として需要減少や鋼材価格の高止まり等の影響を受けているものの、新規顧客の開拓や新製品の拡販に努めたことにより、売上高は回復傾向にあります。

この結果、売上高は前年同四半期比209百万円 6.9%減の2,812百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比156百万円 25.0%減の471百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間における流動資産は、売上債権が増加したものの、現金及び預金が減少したことにより、前連結会計年度末比4,350百万円減の27,905百万円となりました。一方、固定資産は、有形固定資産が建設仮勘定の増加により、前連結会計年度末比766百万円増の7,977百万円となり、投資その他の資産が長期預金の増加により前連結会計年度末比4,641百万円増の17,978百万円となったことにより、前連結会計年度末比5,404百万円増の26,076百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末比1,054百万円増の53,982百万円となりました。一方、流動負債は、賞与引当金等が減少したものの、仕入債務及び短期借入金が増加したことにより、前連結会計年度末比444百万円増の5,357百万円となり、固定負債がその他有価証券評価差額金減少に伴う繰延税金負債の減少により前連結会計年度末比68百万円減の2,285百万円となったことから、負債合計は前連結会計年度末比376百万円増の7,643百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比678百万円増の46,338百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の86.3%から85.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、現在までのところ概ね予想の範囲内で推移しているため、2024年11月8日公表の予想から変更いたしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,687,270	14,242,993
受取手形及び売掛金	7,109,292	7,839,251
電子記録債権	610,593	835,659
商品及び製品	1,870,434	2,217,432
仕掛品	1,287,196	1,194,012
原材料及び貯蔵品	1,540,182	1,493,909
その他	152,291	83,726
貸倒引当金	△1,270	△1,340
流動資産合計	32,255,990	27,905,646
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	2,078,164	1,900,295
その他(純額)	5,132,513	6,077,134
有形固定資産合計	7,210,677	7,977,429
無形固定資産		
	124,228	120,548
投資その他の資産		
投資有価証券	9,902,258	9,551,159
繰延税金資産	14,863	13,848
長期預金	2,100,000	7,100,000
その他	1,321,633	1,315,293
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	13,337,185	17,978,731
固定資産合計	20,672,091	26,076,709
資産合計	52,928,082	53,982,356
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,474,295	2,729,669
電子記録債務	328,089	424,522
短期借入金	373,800	682,000
未払法人税等	371,739	338,495
賞与引当金	420,000	210,000
役員賞与引当金	35,000	30,000
その他	910,229	943,151
流動負債合計	4,913,153	5,357,839
固定負債		
繰延税金負債	1,830,674	1,759,423
退職給付に係る負債	340,187	350,456
役員株式給付引当金	95,328	87,986
資産除去債務	40,480	40,672
その他	47,435	47,088
固定負債合計	2,354,106	2,285,627
負債合計	7,267,260	7,643,466

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	742,352	757,383
利益剰余金	39,720,445	40,416,950
自己株式	△829,450	△821,378
株主資本合計	40,667,347	41,386,955
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,996,612	3,777,695
為替換算調整勘定	774,783	988,860
退職給付に係る調整累計額	222,079	185,378
その他の包括利益累計額合計	4,993,475	4,951,933
純資産合計	45,660,822	46,338,889
負債純資産合計	52,928,082	53,982,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	16,620,709	19,291,649
売上原価	12,799,634	14,509,906
売上総利益	3,821,075	4,781,743
販売費及び一般管理費	2,270,314	2,432,036
営業利益	1,550,760	2,349,706
営業外収益		
受取利息	10,715	11,322
受取配当金	195,882	204,636
不動産賃貸料	58,336	59,316
為替差益	23,607	-
その他	71,862	76,458
営業外収益合計	360,405	351,733
営業外費用		
支払利息	5,015	5,028
賃貸収入原価	24,684	25,612
為替差損	-	37,397
その他	4,003	401
営業外費用合計	33,703	68,439
経常利益	1,877,463	2,633,000
特別利益		
固定資産売却益	1,396	2,805
投資有価証券売却益	340	42,041
特別利益合計	1,737	44,847
特別損失		
固定資産売却損	-	2,040
固定資産除却損	35,395	24,508
特別損失合計	35,395	26,548
税金等調整前四半期純利益	1,843,805	2,651,298
法人税等	570,129	782,702
四半期純利益	1,273,675	1,868,596
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,273,675	1,868,596

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,273,675	1,868,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	710,997	△218,917
為替換算調整勘定	216,028	214,076
退職給付に係る調整額	△4,841	△36,701
その他の包括利益合計	922,184	△41,541
四半期包括利益	2,195,859	1,827,055
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,195,859	1,827,055
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、第3四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第3四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,599,192	3,021,517	16,620,709	—	16,620,709
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,599,192	3,021,517	16,620,709	—	16,620,709
セグメント利益	1,547,693	628,216	2,175,910	△625,149	1,550,760

(注) 1. セグメント利益の調整額△625,149千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社管理本部等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,479,642	2,812,006	19,291,649	—	19,291,649
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,479,642	2,812,006	19,291,649	—	19,291,649
セグメント利益	2,560,874	471,445	3,032,319	△682,612	2,349,706

(注) 1. セグメント利益の調整額△682,612千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社管理本部等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	818,378千円	770,563千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	11,051,497	3,021,517	14,073,014
海外	2,547,694	—	2,547,694
顧客との契約から生じる収益	13,599,192	3,021,517	16,620,709
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	13,599,192	3,021,517	16,620,709

当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	12,938,078	2,812,006	15,750,085
海外	3,541,563	—	3,541,563
顧客との契約から生じる収益	16,479,642	2,812,006	19,291,649
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	16,479,642	2,812,006	19,291,649